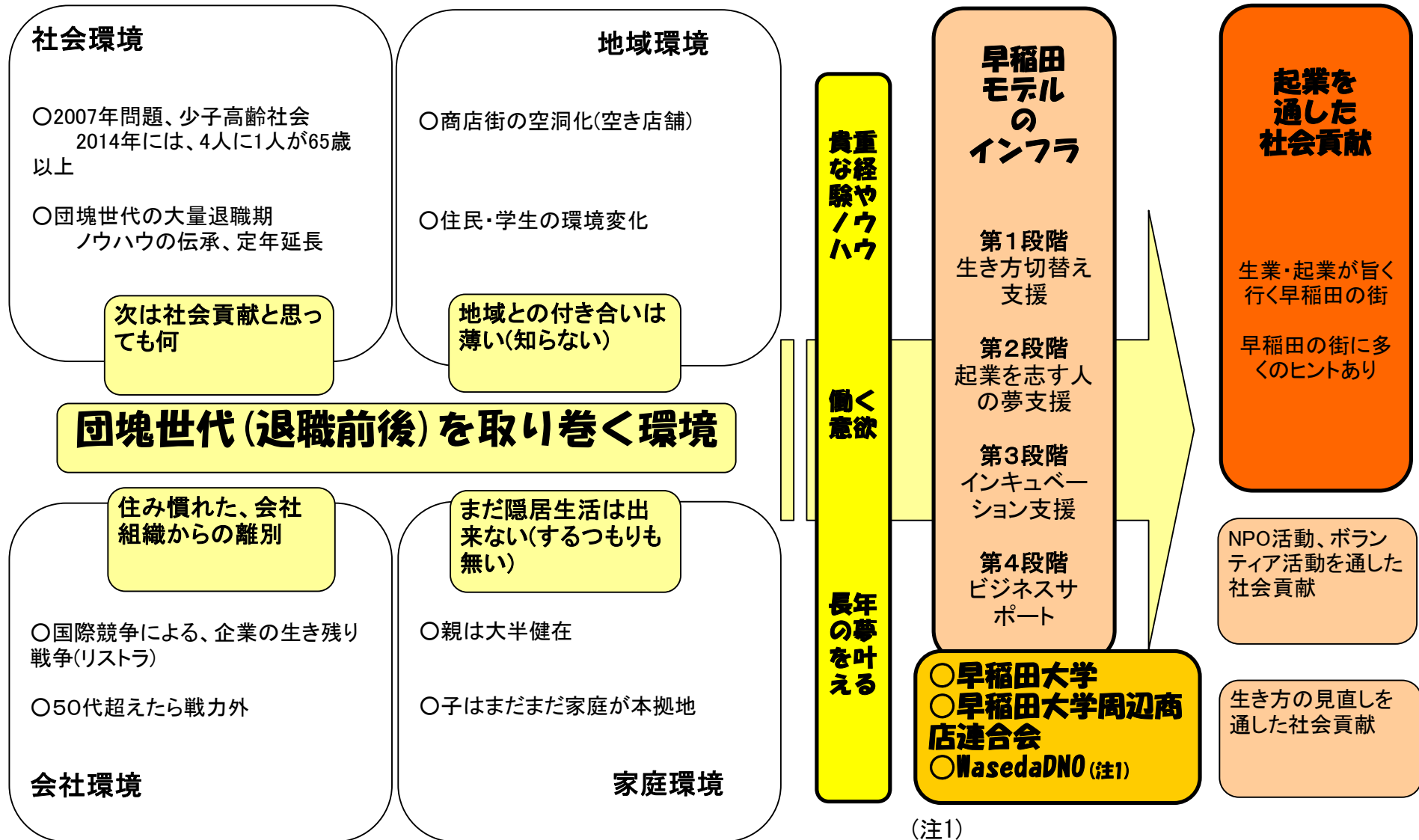


早稲田モデルの背景とコンセプト



(注1)
特定非営利活動法人
『団塊のノーブレス・オブリージュ』

50代以上サラリーマン起業の「早稲田モデル」実施計画案

○ 早稲田モデルとは

通称「早稲田モデル」、正式には「50代以上サラリーマン起業支援 早稲田の街モデル」のことで、長きにわたり会社で勤めたサラリーマンが会社を離れ、自立起業しようとする時の悩み・障碍を、早稲田の街ぐるみ(商店会、大学、ノーブレスNPO)で解決・支援するインフラ環境を整備し、実践できる産学連携モデル。

○ 早稲田モデルの実施とインフラ

4つの支援段階に分け、サラリーマン起業の支援を実施する

第一段階 生き方切替え支援

第一段階では、会社から離れた後、今までのサラリーマン生活と違い、自らやりたいことに挑戦していく生き方に切替える「生き方切替え」を支援する。同じ年代、同じ立場の仲間と夢を語り、生き方を探す。

<インフラ> 自主ゼミ定期実施体制

第二段階 起業を志す人の夢支援

第二段階では、起業をこころざす人の願望のような夢からはっきり定まった目標までさまざまなものの中から、それぞれの事業の夢を分析、分解、組立て直す作業を中心とする。

<インフラ> 問題分析相談員の設置 (経営SEみたいなもの)

事業計画ビルダー の設置

生業・起業家養成講座 の定期開設

常時実験できる街早稲田 の実現

祭りと市の街早稲田の実現

第三段階 インキュベーション支援

第三段階では、第二段階で立案した事業計画を実際に行う際発生する様々な困難を共同で解決できるインキュベーションサポートセンターで支援する

<インフラ> 開業前資格頭脳集団 の設置

ITソリューション頭脳集団 の設置

共同ブースオフィス の設置

サラリーマン経験活用バンクの設置

第四段階 ビジネスサポート

第四段階では、実際に開業してから中小零細企業ゆえのさまざまな困難に直面する時、街ぐるみのビジネスサポートセンターとして支援する

<インフラ> 早稲田モデルビジネスサポートセンター の設置

早稲田モデル生業サポートセンターの設置

早稲田モデル共同広告機構 の設置

早稲田モデルタニマチファンドによる無担保低利融資

○ 早稲田モデルの普及

早稲田モデルを全国に普及する段階であり、産学連携による普及活動を実施